

作成	平成16年4月
改定	平成18年4月
改定	平成19年4月

## 春日井地域水田農業ビジョン

春日井地域水田農業推進協議会

## 春日井地域水田農業推進協議会

### 地域水田農業ビジョン

- ( 1 ) 地域水田農業の改革の基本的な方向
  - 地域農業の特性
  - 作物振興及び水田利用の将来的方向
  - 担い手の明確化と育成の将来的方向
- ( 2 ) 具体的な目標
  - 作物作付け及びその販売の目標
  - 担い手の育成及び担い手への土地利用集積の目標
- ( 3 ) 地域水田農業ビジョン実現のための手段
  - 産地づくり推進交付金（産地づくり対策）の活用方法
- ( 4 ) 担い手の明確化
  - 担い手のリスト

## 地域水田農業の改革の基本的な方向

### 地域農業の特性

春日井市の農業は、水稻を中心に桃・ぶどう・柿の果樹栽培も行われており、果樹は、名古屋市と隣接している立地条件を生かし、名古屋方面へ市場を通し出荷されています。

また、桃・ぶどう・柿の一部は沿道販売及び園地販売も行っています。

伊勢湾台風以後、桃山地区で行われているサボテンの実生栽培は、全国生産の80%を占める特産となっています。

野菜類については、団地規模の産地がないため、市場出荷が難しく、グリーンセンター産直部会を中心とした産地直売等による地域住民と直結した活動規模となっています。

稲作については、市内の耕地の60%以上を占めており、本市の中心的作物であります。水田保有農家の60%以上が水田経営面積30アール以下の農家であり、兼業農家が95%を占めています。

また、オペレーターで組織された受託者部会は、高齢化してきており、後継者問題は、一般農家ともども深刻になっています。

近年の都市化により農地の減少が続き、加えて農業就業人口の高齢化・担い手不足に伴う生産力の停滞が、進行しています。

市内で生産された米穀の約50%が農協の乾燥調整施設を利用していますが、その約60%は農家保有米として引き取られるため、約40%が農協を通じて販売されています。

### 作物振興及び水田利用の将来的方向

春日井市の気候、風土及び社会環境の関係から水田での水稻以外の作物作付けは非常に難しい状況にあり、今後、加工米への転換を農家及び協議会等で検討を進めていきます。

農業者の高齢化、後継者不足の問題から、水田を良好な状態に保ち、耕作放棄地を未然に防ぐために、れんげ、菜の花、コスモスを景観形成作物として作付けし、水田環境の保全に努めます。

また、産直施設であるグリーンセンターを使い、産直と学校給食での地元産野菜の使用を結びつけた活動を通し、地産地消を進めていきます。

### 担い手の明確化と育成の将来的方向

住宅等宅地開発が進む農住混在の営農環境の中では、新規のオペレーター確保が難しい状況の中、現在活動しているオペレーターの能力も限界に近づいてきており、高齢化と相まって、加速的に利用集積が

進む状況にはありません。

しかし、オペレーターの活力が弱まっている中、小規模ではあります。営農能力に余力がある農家に対し、現在耕作している周辺ほ場の経営拡大への働きかけをおこない、規模の拡大による経営環境の向上をはかりつつ、現在、個々の農家がもつ農地管理能力の保持を図るとともに、農協を中心とした農業生産法人などをはじめとした新たな営農体制の確立にむけ、検討を開始します。

## (2) 具体的な目標

### 作物作付け及びその販売の目標

「売れる米づくり」への取り組みについては、作付品種が「あいちのかおり」、「祭り晴」、「あさひの夢」に集約されてきており、大口ロット化への取り組みを今後も続けます。作物の「地産地消」への取り組みについては、「農協直売所等での販売」の促進をはかります。

作付計画、販売計画については、別表のとおりです。

### 担い手の育成及び担い手への土地利用集積の目標

担い手像としては、水稻作主体の農家を基本とします。

その育成方針として「米づくりのあるべき姿」の目標年度である平成22年度までに、市内の米生産の相当部分を新たな担い手及び経営体制により担うことを目標とします。

また、受託ほ場、利用集積箇所の見直しによる連担化などの作業効率の向上が可能な地域から、担い手を中心に利用集積を働きかけていきます。

## (3) 地域水田農業ビジョン実現のための手段

### 産地づくり推進交付金（産地づくり対策）の活用方法

- ア 加工用米への助成 500円以内 / 1俵（玄米60kg）
- イ 景観形成作物助成 10,000円以内 / 10アール  
（れんげ、菜の花、コスモス）
- ウ 地産地消作物助成 10,000円以内 / 10アール

## (4) 担い手の明確化

### 担い手リスト

《省略》